

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 市民への文化芸術の鑑賞、創作活動の機会を提供します。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	□「1日ギター教室」入場者数	50名	21名	C	コロナ対策もあり参加人数を目標の50人から20名で募集し実施しました。また、秋以降の開催が実現できませんでした。	<p>【成果】</p> <p>令和3年もコロナの影響を大きくうける1年になりました。中止せざるを得ない自主イベントもありましたが、感染症対策のガイドラインのコロナ対策を徹底し開催できたイベントもありました。また、参加者は減りましたが「わたしのギャラリー」や「朝からグランドピアノ」は一年を通じて開催できました。</p> <p>「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」関連事業では、障がいのある方と健常者が共に集うダンスイベント「FUN! FUN! FUN!」も共催し、310名が参加するなど大きな成果を挙げました。</p> <p>【課題】</p> <p>コロナで減った利用者への利用案内や告知活動の徹底、また今後のコロナの状況も見ながら自主イベントなどの企画、実施が課題となりました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>課題に挙げられている「参加者の応募が少ない自主事業の見直し」や「地域と利用者層を考慮した事業の提案」への取組を期待します。</p> <p>継続的に開催できている事業の中には、参加者や参加団体が目標に届かなかった事業がありました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、困難な状況が続いていますが、引き続き感染症対策等に配慮しつつ、需要を掘り起こしていくことを望みます。</p> <p>次期指定期間は、共同事業体による強みを活かし、居住エリアや世代にも考慮した広報宣伝に取組んでいくことを期待します。</p>
		□「若手アーティストシリーズ」参加者数	200名(年2回)	57名	C	コロナの影響もありましたが1回開催しました。	
	②講座やワークショップを開催することで、文化芸術への理解・共感を高めていきます。	□ギターワークショップ入門編(入門10回+発表会)	30名	40名	A	参加人数をおさえ複数回実施しました。	
		□ギターワークショップ ステップアップ編(6~7回)	30名	中止		コロナの影響を考慮して中止しました。	
		□「Dance Dance Dance@YOKOHAMA 2021」関連事業	30名	389名	A	コロナ対策をして実施。ステージの登壇は最大20名まで、1団体8分までのステージ利用時間で開催。参加は主催団体のほか横浜市内のダンスチーム7団体が参加しました。目標を大きく上回る参加者を集められました。	
	③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	□わたしのギャラリー出展数	40点(年間)	76点	A	1年通じて展示ができました。	
		□朝からグランドピアノ参加者数	延べ120名(年間)	81名	C	コロナ禍の影響を受け、7月~10月の利用者が激減しました。	
2 次世代育成に取り組めます。	①次代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	□吉野町アート寺子屋参加者数	30名	62名	A	障がい・ハンディキャップのある方も気軽に参加できるダンスワークショップを開催しました。コロナ対策をして実施しました。	
		□吉野町アート寺子屋開催数	年2回	年2回	B	夏休み親子探検ツアーとダンスで2回開催しました。地域の参加者と連携し活動協力ができました。	
		□「1日ギター教室」入場者数	(I-1再掲)	21名	C		
	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	■子どもたちの光のアート作品展(大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」)子どもたちが光の作品を制作し展示する機会の提供について研究・協力	協力	実施	—	広報活動などに協力できました。	
		□子どもが作る光のワークショップ参加者数	20名	中止	—	コロナの影響を考慮し中止しました。	
	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくりまします。	■「あしおとでつながろうプロジェクト」言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会に協力	協力	実施	—	タップダンサーおどるなつこ氏のワークショップ10回開催への協力はできました。	
		□吉野町アート寺子屋参加者数	(I-2再掲)	62名	A		
		□吉野町アート寺子屋開催数	(I-2再掲)	年2回	B		
		■水辺の光コンサート(大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」)開催実施の研究・協力	協力	中止	—	イベント中止	
	④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	□水辺の光コンサート(大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」)出演団体数	12団体(2日間)	中止	—	イベント中止	
□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数		5校	5校	B	体験型、鑑賞型の学校教員プログラム5校を実施。地域文化活動に協力できました。		

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価			
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
3 市民協働、市民主体の活動を支援し、地域人財を育成します。	18	□写真講座 参加者数	15名	9名	C	ステージでダンスの撮影講習会を実施しました。	【成果】 アートアンドクラフト・マーケット、WEB・映像講座はコロナのため中止しました。ウエルカムプラザは目標参加団体数には届きませんでした。コロナの中で健闘しました。写真講座は2回開催が目標でしたが、コロナの影響もあり1回の開催となりました。 【課題】 コロナの影響もありますが参加者応募の少ない自主事業の見直しが必要であり、地域と利用者層を考慮した事業の提案も今後の課題と考えています。		
	19	①地域で文化活動を担う人財を育成するための事業を実施します。	□WEB・映像制作講座 参加者数	15名	中止	—			コロナの影響を考慮し中止しました。
	20		■ワークショップ修了フォローアップ事業 ワークショップ参加者で組織するグループの活動を支援	活動支援	実施	—			実施への協力をしました。
	21	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	□「吉野町音楽空間2021」参加団体数	10組(1日間)	10組参加	B			「つながり」をつくるライブイベントとして実施し5回目の開催。参加希望バントが多く10組に選考し開催しました。
	22		■「アートアンドクラフト・マーケット2021」で、制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会を提供	実施	中止	—			コロナの影響を考慮し中止しました。
	23		□「アートアンドクラフト・マーケット2021」参加団体数	延60団体 (2日間×2回)	中止	—			コロナの影響を考慮し中止しました。
	24		□「ポップスギターアンサンブルコンサート2021」入場者数	100名	—	—			一般の観客を入れず、動画撮影会形式で開催しました。
	25		□ギャラリーホワイエ活用事業回数	15回	4回	C			コロナ禍の影響もあり参加団体が減りました。
	26	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	■大岡川アートプロジェクト実行委員会への支援	活動支援	実施	—			支援活動は実施できました。
27		□ウエルカムプラザ参加団体数	30団体	28団体	B	コロナ禍の影響もあり参加団体は目標より若干減りました。			
4 文化芸術を通じた地域のネットワーク形成への寄与、文化的モメンツの形成を牽引します。	28	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	■大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」地域の冬の風物詩として定着しつつある事業に参画し、多様なネットワークを構築。開催に向けて協力	協力	実施	—	【成果】 コロナの影響を大きくうける事業が多かった中、10/10を中心に地域で活動する団体と協力した事業を実施することができました。FUN! FUN! FUN! ダンスイベントは来期につながる地域団体との交流が構築できました。 【課題】 大岡川アートプロジェクトやアートアンドクラフトマーケットなど人が集まるイベントに関しては、コロナの状況をみて判断していきたい。地域の活動、野外映画祭や神ジャズなどの地域イベントや活動にはこれからも積極的に参加していきたい。		
	29	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	■まちのにぎわいつながり計画 定期的な交流機会を活用しつながりを継続	実施	実施	—	コロナ禍の影響もあり開催は減りましたが、地域の野外映画会や神ジャズ開催などに参加・協力しました。		
	30		□子どもが作る光のワークショップ参加者数	(I-2再掲)	中止	—			
	31		■クリスマスコンサート2021で、近隣学校と連携	実施	実施	—	コロナの影響もありましたが、1回開催しました。		
	32	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	□「アートアンドクラフト・マーケット2021」参加団体数	(I-3再掲)	中止	—			
	33		■「アートアンドクラフト・マーケット2021」で、制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会を提供	(I-3再掲)	中止	—			
34		□「Dance Dance Dance@YOKOHAMA2021」関連事業 参加者数	(I-1再掲)	389名	A				
5 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を推進します。	35	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数	(I-2再掲)	5校	B		【成果】 芸術文化教育プラットホームや、あしおとでつながろうプロジェクトを通じて地域で活動するアーティストと交流が構築できました。 【課題】 地域とアーティストや文化事業を繋げていく企画を提案していきたい。		
	36	①アートを通じて、多様性を認め合える豊かな地域の礎を築き、地域コミュニティの活性化と社会的包摂の推進に努めます。	■大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」(再掲)多様な市民が集う場の実現に協力し、地域コミュニティ活性化に寄与	協力	実施	—			コロナ禍の影響もありイベントを縮小しましたが、広報協力などは達成できました。
	追1		■「あしおとでつながろうプロジェクト」言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会に協力(再掲)	協力	実施	—			障がいのある方、ハンディキャップのある方にダンス体験のできる場を提供することができました。

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
6 情報提供及び広報・プロモーションを実施します。	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、現在の市民プラザの“弱み”である情報提供・広報プロモーション力を強化します。 ②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかりやすく利用しやすい発信をします。 ③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。 ④地域の人材を育成し市域全体のプラットホームを設立	□tvk番組での事業告知・報告等回数	両プラザで月1回程度	5回	C	コロナの影響で自主事業告知がなく、5月～8月の告知はありませんでした。	【成果】 自主事業の件数は減少しましたが、JVの強みを生かしtvk番組内で効果的に告知しました。 自主事業の件数が減少し掲載すべき記事がない期間は、毎月発行している「インフォメーション」を中止し、経費削減に努めました。 年度初頭には2回予定していた写真講座なども、感染症拡大なども考慮し、1回に減らすなどの対応を取りました。 【課題】 利用者や利用団体の居住エリアや世代を考慮し、より効果的な告知をする必要があります。今後、より集客性の高い事業を企画していきたい。	
		■WEBページに新たなコンテンツの追加	実施	実施	—	館の自主事業や、横浜市からのお知らせなどHPで情報を随時更新しました。		
		□WEBページ掲載記事数(SNS「館長日誌」連動)	150件	232件	A	精力的に配信をおこないました。		
		□放送と神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	実施	実施	—	掲載できる媒体などを積極的に利用しました。		
		□「プラザインフォメーション」発行回数	年4回	2回	C	2、3月は発行、その他は自主イベント告知がないため発行休止しました。		
		□「プラザインフォメーション」配布場所	150箇所	156箇所	B	発行した2、3月は、目標の配布場所に配布できました。		
		■周辺地域に集う方々の顔や、地域の生きた情報を集めて発信する文化情報サイトの機能を、市民プラザホームページ内に構築	実施	実施	—	あしおとでつながろうプロジェクトのワークショップ映像などを吉野町市民プラザHPから配信中です。		
		■舞台写真撮影ワークショップなど、文化活動に役立つ撮影講座を開催	実施	実施	—	コロナの影響もありましたが開催しました。		
□写真講座参加者数	(I-3再掲)	9名	B					
□WEB・映像制作講座 参加者数	(I-3再掲)	中止	—					

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動を始めとする多様な市民利用への施設の提供を行います。	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。 ②利用率が高まる工夫を行います。	■企画から本番まで、お客様の立場で相談に応じ、チケット販売や広報に協力	実施	実施	—	共催イベントにおいても、企画から本番まで、様々な相談に応じ、チケット販売や広報に協力しました。	【成果】 感染症対策のガイドライン更新にも迅速に対応し、施設の消毒、換気についてはスタッフ一丸となって取り組みました。 施設利用率は、コロナの影響で会議室以外は目標を達成できず、特にギャラリーの利用率は大きく低下しました。 【課題】 落ち込んだ施設利用率の回復と、若い人を対象としたU25割引制度の利用促進を課題とします。 また、地域で活動する団体や商店などを対象に、SNSなどで施設利用を効果的に周知、PRをしていくことにも取り組みます。 【更なる取組を期待する点】 ・施設利用率は会議室を除いて目標を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響が年間を通して続き、やむを得ない面がありますが、25歳以下を対象とした「U25割引制度」の利用促進など、引き続き利用率向上に向けた努力を望みます。 ・次期指定期間では、吉野町、岩間の両市民プラザ間で情報やノウハウの共有をさらに進め、効率の良い施設運営を図ってください。 ・今後も個人情報取扱やコンプライアンス研修を定期的に実施し、日々の施設運営に活用してください。	
		■交替勤務による情報伝達不足がないよう、ネット上の情報共有ツールや、ノート等で情報共有	実施	実施	—	スタッフ共有のグループメール、グーグルカレンダー、カルチャースタッフの連絡ノートといったツールを常に活用し、情報共有を実施しました。		
		■利用相談・見学会の開催	開催	実施	—	恒例の8月15日「おやこ たんけんツアー」を開催し、ホールのバックステージを見学説明しました。		
		■来館や電話、eメールによる利用に関する相談や助言は、随時受け付け	実施	実施	—	来館・電話・代表メールからの利用に関する相談や助言を随時受け付け、きめ細かい対応を心掛けました。施設見学は、利用の状況を確認しながら、受付業務をしています。		
		■若い利用者へのアピール「U25割引制度」	実施	実施	—	若い利用者への利用促進事業「U25割引制度」は岩間市民プラザとも協力しイベントカレンダーやホームページで随時紹介しました。		
		■予約システム受付終了後も公演・展示利用を受付	実施	実施	—	感染症防止対策等は横浜市の指示に対応し、利用コマの前後は換気・消毒を徹底しました。		
		■営業担当者によるPR活動 営業担当者を配置し、PR活動、営業活動を強化	実施	実施	—	イベントカレンダーの配架(4月・5月・7月号のみ)および利用に結び付く案内を実施。広告枠に利用者の希望する広告や地域に根ざした企業へのアプローチを行いました。		
		□目標利用率	—	—	—	コロナで7月～10月の利用が大幅に落ち込みました。感染症拡大によるキャンセル、利用時間短縮の要請によるキャンセルは多数となりました。		
ホール	96%(日)	92.0%	B	コロナの影響もあり利用が減りました。				
ギャラリー	60%(日)	37.0%	C	コロナの影響で利用が大幅に減りました。				
会議室	55%	57.0%	B	目標を達成できました。				
スタジオ(A～C平均)	80%	60.0%	C	コロナの影響もあり利用が減りました。				

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウを一層活用します。	9	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	—	<p>【成果】</p> <p>更新されていく感染症対策ガイドライン等に関してのお問い合わせが多数寄せられましたが、一つ一つ丁寧にご理解いただけるようできる限り対応いたしました。</p> <p>利用料金の返還なども、朝礼や職員会議で確認し利用者の方へ迷惑をかけないように情報を共有しました。</p> <p>【課題】</p> <p>カルチャースタッフも入れ替わりがあるので、今後も丁寧な受付対応を徹底します。</p> <p>より地域の活動拠点としての役割を強化していくことに取り組みます。</p>		
	10	①来館者・利用者からのご要望・ご意見を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■緊急度・重要度から優先順位を決め、順次取り組み	実施	実施			—
	11		■対応後は検証を行い、より良い改善につなげる	実施	実施			—
	12		□接遇研修実施回数	年1回	年1回			—
	13	②対象に応じた情報収集のツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づく、サービスの向上	■ご意見箱、受付時の対応、公演時アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握	実施	実施			—
14	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組	■動画を作成し、来場者への発信を強化	実施	実施	—			
3 組織的な施設運営を行います。	15	① 適切な運営組織体制と人材の配置	□共同事業体各社の得意分野を運営に活かす職員配置数	館長 1、副館長 1、事業担当 2、管理担当 1、舞台技術担当 1、運営補助3、受付担当 5 人員相当	館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、舞台技術担当1、運営補助3、受付補助5人員相当	B	<p>【成果】</p> <p>事務室および舞台技術者9名、受付補助8名で、利用者への対応、施設管理など確実に運営しました。</p> <p>始業前の朝礼を毎日1回、職員会議月1回、運営会議4回、全体集合研修を2回、および企画検討会を随時行い、確認・振り返りを行い、日々の運営に反映させました。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も日常点検、確認・共有の場である会議を行い、安心安全な施設を保ちます。</p>	
	16	② 組織内の情報共有及び主要人材の能力確保	□各種会議の実施数	朝礼 1回/日 職員会議 1回/月 運営会議 4回/年 企画検討会 随時	朝礼 1日1回 職員会議 月1回 運営会議 年4回 企画検討会 随時	B		
	17		□職員研修回数	年2回	年2回	B		
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組を実施します。	18	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施	■個人情報チェックリストにより、定期的に点検。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を実施	実施	実施	—	<p>【成果】</p> <p>インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱うフォームを、事業参加受付に活用しました。</p> <p>個人情報保護は、個人情報チェックリストにより、定期的に点検しました。また、ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための指導を受付スタッフに全員に実施しました。</p> <p>文化施設としての快適性を確保しつつ、「管理標準」を活用して、利用者が立ち入らない場所の節電を徹底するなど、節電への取組を積極的に行いました。</p> <p>【課題】</p> <p>個人情報取扱、コンプライアンス研修は、今後も定期的の実施します。</p>	
	19		■インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを活用	実施	実施	—		
	20		■施錠管理やデータのパスワード管理を徹底	実施	実施	—		
	21		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」にそって情報開示	実施	実施	—		
	22		■人権に配慮した運営、接遇	実施	実施	—		
	23		■快適性を確保しつつ、節電に積極的に取り組む	実施	実施	—		
21	■「横浜市中心小企業振興基本条例」を鑑み優先発注	実施	実施	—				

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価			
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
1 施設及び設備の維持保全及び管理を行います。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	■日常点検時定期点検時に発見した不具合については臨時補修し施設の安全性を確保	実施	実施	—	日常点検時・定期点検時に発見した不具合については臨時補修し、施設の安全性を確保しました。	【成果】 施設設備システムの点検・補修は、毎日の職員点検とともに専門業者による定期点検を着実にこなし、ゴミは横浜市のルート回収に参加して処理しました。 【課題】 1989年に開館し30年以上を経過しているため、施設躯体そのものの老朽化とともに、設備システムへの影響も出始めています。 大きな損害・被害が出ないように、日々の点検で異常を早めに見つけ対処するように努めます。	【評価する点】 ・災害の発生に備えた防災訓練や消防訓練を実施し、吉野ポンプ場との連携も図っているほか、災害用備蓄品を常備していることを評価します。 ・日常的な施設点検や清掃を着実に実施し、施設を維持保全できています。 【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図るとともに、適切な小破修繕を行うことを期待します。 ・緊急時に利用者や職員・スタッフ等の安全確保を図れるよう、日頃からの備えを万全にし、課題として挙げているAED研修などを着実に実施してください。 ・次期指定期間も引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持に努めてください。	
		■消防設備及び法定点検を計画通り実施し発見された不具合の修繕を確実に実施	実施	実施	—	法定点検により発見された不具合の修繕を確実に実施しました。			
		■公共施設として必要不可欠な安全性と清潔感を保ち、かつ施設設備の機能維持を図るため、施設点検のための休館日を設定	実施	実施	—	施設点検の休館日を年間16日設定しました。			
		■連続する作業可能日を設定	実施	実施	—	連続する作業日を年間4回(5月、10月、12月、2月)設定しました。			
		■「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持	実施	実施	—	「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持しました。			
		■「業務の基準」に則り物品管理簿により管理	実施	実施	—	「業務の基準」に則り物品管理簿により管理し、年度末には実査による確認、報告を行いました。			
		②保守点検、備品管理、環境維持の実施	■巡回清掃の実施、美観・衛生管理を強化するなど、業務の基準を満たしながら、利用実態に則した満足度を向上させる清掃	実施	実施	—			日常巡回清掃は、利用状況に応じて実施し、常に清潔・美観に心掛けました。
			■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生抑制	実施	実施	—			廃棄物管理責任者のもとに年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進を実施しました。
			■横浜市のごみゼロルート回収に参加	実施	実施	—			横浜市のごみゼロルート回収に参加し、資源循環に努めました。
			□定期的な施設点検日と職員研修(防災訓練等)日	月1~2日	毎月1回以上実施	—			月1~2日の施設点検日と職員研修(防災訓練を兼ねる)を設定しました。
			□エレベータの保守点検回数	毎月1回	毎月1回以上実施	—			毎月1回以上実施しました。
2 小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組	□巡回点検実施回数	毎日1回	毎日1回以上実施	—	毎日1回以上巡回点検を行い、利用者の安全と快適な施設環境を保持しました。	【成果】 小破修繕は利用者の安全や利用に直結する事項から優先的に実施しました。 【課題】 数か所の雨漏りなど劣化が進む設備の費用・期間ともにかかる修繕については設置者と協議を続けます。		
		■日常の保守管理のなかで優先的順位をつけながら小破修繕	実施	実施	—	駐車場照明器具交換などお客様の安全や利用に直結するところを最優先に実施しました。			
		■更新が必要なものについては横浜市と協議	実施	実施	—	横浜市のワイヤレスマイク更新工事に協力しました。			
3 事故予防及び緊急時の対応を確実に実行します。	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施	■消防設備や避難経路の案内図を掲示	実施	実施	—	消防設備や避難経路の案内図を常に見えるよう表示しました。	【成果】 設備システムの保守点検契約を結び、着実に維持管理しました。 【課題】 職員の日常点検から異常や不具合を見つけることも多く、日常点検の大切さを感じます。ただ、開館から30年以上経ち、職員による対応が困難な事例もあり、老朽化対策も必要だと感じます。		
		■建築設備、舞台設備不具合に迅速に対応し故障・停止を未然に防ぎ安全確保	実施	実施	—	建築設備、舞台設備の保守点検契約を結び、設備を維持管理しました。			
		■緊急時の連絡網を作成し市と共有・連携	実施	実施	—	緊急連絡網を作成し、横浜市に提出し、必要時には連絡を取り合いました。			
		■職員が館内を巡回し、日常の衛生管理を徹底	実施	実施	—	月1~2日の施設点検日と職員研修(防災訓練等)を設定。			

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
4 防災に対する取組を行います。	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■災害や危機が発生した場合、「人命の尊重」「生命の安全確保」を第一に対処	対処できる体制づくり	実施	—	実際の現状を想定した防災訓練を実施し、災害や危機が発生した場合、人命の尊重、生命の安全確保を第一に全員が行動できる体制を整えました。台風等により公共交通機関の計画運休実施などに伴い、閉館時間の繰り上げなど、来館者の安全を確保しました。	【成果】 AEDを受付に常設。 南部水再生センターへの職員見学を行い、防災時の行動などへの意識を高めました。 非常時に備えた職員各自のヘルメット、飲料水やレスキューセットは常設し適宜確認し、必要時にはすぐに持ち出して利用できるようにしました。 感染症対策にも対応し、日常的に除菌・消毒・換気を行い、使用者の方にも理解をいただき、協力していただきました。 【課題】 緊急時・災害時は的確な判断とともに、限られた人員で適切な対応が求められます。日常点検に加え、特に大地震も視野にいれた災害対策や大規模な訓練を実施することで、災害時に生かせるよう備えたいと思います。 コロナで中止していた消防隊員による、職員全員へのAED研修の実施などをしていきたい。	
		■地震、津波、停電、交通遮断、救急要請に対応した、危機管理マニュアルを作成	実施	実施	—	改定なし		
		■環境創造局南部水再生センター(吉野ポンプ場)とも連携して活動	実施	実施	—	防火・防災管理者、統括防火管理者を選任し、環境創造局南部水再生センター(吉野ポンプ場)との合同訓練など、連携して活動しました。		
		■防火・防災訓練については、所管の南消防署と相談	実施	実施	—	水消火器による消火訓練、地震発生時初動訓練、情報伝達訓練を実施しました。		
		■非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備	実施	実施	—	非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備。消費期限、点灯確認し一部入替えをしました。		
		■災害発生時には、南区との協定に基づき、災害ボランティアセンターの設置(新規)	実施	実施	—	南区と災害ボランティアセンター協定を締結しました。		
		□防災訓練の実施回数	年2回	年2回	B	12/7、2/8に実施しました。		
5 その他の管理に関する事項を実施します。	①適切な許認可及び届出等 ②施設の目的外使用 ③名札の着用 ④人権の尊重 ⑤近隣対策 ⑥書類の管理 ⑦行政機関が策定する基準等の遵守 ⑧法律の制定及び改正への対応	■許認可及び届出等が必要な場合は、適切に処理	実施	実施	—	防火対象物点検報告書特例認定、イベント時の食品提供や著作権手続きを適切に処理しました。	【成果】 許認可業務を確実にし、横浜市から発せられる基準等は都度確認し、全員への共有の徹底と、利用者へはわかりやすく伝えるよう努めました。 接遇研修も行き、日常運営に生かしました。 【課題】 法律や各種基準の改定の際には常に情報収集を行い、対応にあたります。	
		■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	実施	—	目的外使用手続きを適切に実施しました。		
		■各部門に従事する者は名札を着用	実施	実施	—	プラザの管理運営業務従事者は全員名札を着用して業務しています。		
		■人権に関する講習会等に参加	実施	実施	—	社内研修を行いました。		
		■騒音や利用者の迷惑行為に関して、近隣対策を実施	実施	実施	—	近隣対策や利用者への指導を行い、令和3年度は苦情などの事例はありませんでした。		
		■各書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	—	各書類の保存期間を定め、保管・管理しています。		
		■行政機関が制定する基準等を遵守	実施	実施	—	行政機関が制定する基準等を遵守しています。		
■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	実施	—	感染症拡大防止ガイドライン・緊急事態宣言等発令・更新の際には適正に対応しました。				

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランスを保ちます。	1	①適切な収支構造及び収支バランス	■指定管理料にたよらない収入構造を確立するため、民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	事業の性格を見極め事業全体で収支バランスを取りましたが、コロナの影響により令和3年度の事業収支は91万円の赤字となりました。	【成果】 自主事業収支の赤字を圧縮するため、印刷費や雑費、光熱費などの経費削減に努め、全体収支において赤字の圧縮を実現しました。 【課題】 コロナによる自粛で相次ぐ利用の中止が予想され、利用料金収入の落ち込み、自主事業開催の見極めが難しい状況が続いています。しかしその状況の中で、利用率の向上を常に意識して、営業努力をしていきたいと思えます。他方では、お客様の安全確保を第一に、市のガイドラインに沿って適切な判断をして運営していきます。
	2		■収入に対し、管理費、事業費、人件費の割合を精査	実施	実施		
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造とします。	3	①利用料金収入を確保します	□目標利用率	(Ⅱ-1再掲)	—	—	【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和3年度は収入、支出の両面で厳しい状況が続きました。次期指定期間では引き続き、施設の利用率向上に向けた営業努力を継続して、適切な収支バランスを保つことを期待します。 ・適切な収支構造の維持に向けては、収入面では利用料金収入や自主事業による事業収入の確保がベースとなりますが、助成金や協賛金の獲得に向けた取組も進めてください。
	4		ホール		92.0%	B	
			ギャラリー		37.0%	C	
			会議室		57.0%	B	
5	②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策や、コスト削減など、収支構造を再分析し、短期的、中期的なビジョンを構築	■電力を入れで調達し、コスト削減	実施	実施	電力を入れで調達しました。		
6		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動を実施	実施	未実施	コロナの影響もあり、営業担当も協賛金の獲得活動はしたものの、獲得はできませんでした。		
7	①コスト削減の徹底 事業費、管理費、事務費について可能な限りの経費削減を実施	■空調や照明などエネルギーの使用量を可能な限り節減し、光熱水費の削減	実施	実施	一部の空調機設備の故障により、受付フロアで冬季に個別暖房を入れました。またコロナ対策のため換気と暖房を同時に行ったため暖房費がかかりました。		
8		■事業費、事務費について職員全員が削減意識を持ち経費節減	実施	実施	事業費、事務費、管理費全般にわたって職員がコスト意識を持ち節減に努め、最も安価な金額を提示した事業者からの購入を励行しました。		

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
PDCAサイクルを確実に運用します。	1	①各種日報・月報を作成します	■各種日報を作成	実施	実施	業務日誌等、日報、月報を作成しました。	【成果】 報告書類は適正に作成・報告・保存しました。 【課題】 引き続き、適正に処置します。
	2		■月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施	管理月報を作成し、モニタリング時に提出しました。	
	3		■各日報・月報を適切に管理保存	実施	実施	日報、月報ともに適切に管理保存しました。	

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
	1	①必要な保険に加入します	■施設賠償責任保険(賠償責任保険《施設、昇降機、自動車管理者》、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険)に加入	実施	実施	施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加え、ワークショップ開催時にはレクリエーション保険に加入しました。	【成果】 施設賠償責任保険、相談総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入するとともに、子どもが参加するダンス系事業では参加者用障害保険に加入しました。 個人情報保護研修を行うなど法令順守に取り組みました。 横浜市とのモニタリングのほか、館長会議、JV会議を予定通り実施しました。 【課題】 今後も必要な保険の加入、横浜市をはじめとする関係機関との会議を着実に履行します。	
	2		□横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する研修を年1回以上実施	1回	1回	B		横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する情報を職員で共有しました。
	3		■「横浜市市民プラザ情報公開規定」を遵守	実施	実施	—		横浜市の情報公開に関する標準規定に基づき策定した「横浜市吉野町市民プラザ情報公開規定」を遵守しました。
	4		□横浜市とのモニタリングを月1回開催 プラザ館長会議の実施 年6回 JV会議の実施 年4回	モニタリング 月1回 プラザ館長会議 年6回 JV会議 年4回	モニタリング 原則月1回 プラザ館長会議 年5回 JV会議 年4回	C		横浜市とのモニタリングをほぼ毎月開催しました。プラザ館長会議は感染症拡大防止のため延期、中止がありました。

令和3年度 横浜市吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
VII その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 2つの市民プラザを一体で運営します。	①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンドレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安全・安心、快適な施設管理と長寿命化への対応	■若手落語会や市民参加の音楽事業を2館共同で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に月1回実施 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	「吉野町・音楽区間」「岩間・ROCK SPACE」を協力して開催。若手落語会はコロナの影響もあり中止しました。教育プラットフォームはダンスなど新しいアーティストを発掘しました。自主事業は「猫ひたインフォ」をメインに告知。若者を対象としたギャラリーU25プラン企画を岩間市民プラザ連携し同時に告知しました。	【成果】 2館連携事業の開催および2館共同での事業告知をtvk番組でコンスタントに紹介しました。	【評価する点】 ・両市民プラザの連携事業を継続して実施していることを評価します。 ・共同事業体によるメリットを活かした事業告知を展開できていることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・両市民プラザで、事業実施の際の人員応援や人員交流を積極的に図り、各館の施設運営に相乗効果をもたらすことを期待します。 ・次期指定期間では、関内ホールも含めた3館連携事業の推進を一層、図ることを望みます。

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標			特記事項	自己評価	行政評価
						令和3年度も引き続き、横浜市からのガイドライン、利用内容別の各種ガイドラインを確認しながら感染症拡大防止を最優先し、お客様にご理解をいただきつつ、運営・管理をしました。 なかでもFUN! FUN! FUN! ダンスイベントでは障がいのある子どもたちと健常者との交流の場を提供し、また地域団体との交流も構築できました。 今後はより地域に密着した文化拠点となるように、地域のニーズに即した企画や事業を展開していきたいと思えます。	・新型コロナウイルス感染症の影響から、令和3年度は当初の指定期間を1年間延長して指定管理に当たる年度となりました。前年度に引き続いて感染症対策が求められたほか、収容率等にも制約が設けられ、施設運営面、収支面にわたって厳しい状況が続きました。 ・そのようななかで、施設運営のノウハウを活かすとともに、岩間市民プラザとも積極的に情報交換を行って、安定した施設運営を行ったことを評価します。 ・事業については、感染症対策の必要上、前年度に引き続き中止や利用人数の制限による縮小開催を余儀なくされましたが、文化活動の継続に向けて積極的に取組んだことを評価します。 ・特に、「FUN! FUN! FUN! ダンスイベント」では300名を超える参加者が集まり、障がいの有無によらず、どなたでも参加可能な場を提供するなど、成果を上げたことを評価します。 ・その一方で、施設運営では感染症の影響を大きく受けることとなり、ホールやギャラリー、スタジオの利用率は目標を下回りました。次期指定期間では、これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策等も考慮しつつ、利用率向上のための取組が求められます。 ・次期指定期間では、引き続き適正に施設を維持管理し、修繕対応等を検討したり小破修繕を進めたりできるよう、体制の構築を図ってください。 ・コロナ禍の影響が残るなか、吉野町市民プラザは地域の文化活動にとって重要な役割を担い続けています。地域コミュニティとの関わりが深いという特徴や、これまでに培ってきたノウハウを生かし、次期指定期間には、より多くの市民に愛され親しまれる施設となることを望みます。